

お客さま企業探訪—②

株式会社 日本ハイソフト様

島根県出雲市。記紀神話の「大国主の国譲り」の舞台となった地に、株式会社日本ハイソフト様はあります。かんぽ生命松江支店のお客様で、支店からは、宍道湖を越えて、車で40分ほどの距離です。

創業社長の杉原悟様が1985年に開発した業務パッケージソフト、「ADVANCEシリーズ」を主力に、システム

中堅・中小企業に、最適なシステムを提供するため、常に進歩を続ける。

する販売管理と工事管理のシステム、さらに、リスクアセスメント(左下参照)やBI※3といった情報活用

のシステムからなります。内容を拝見しますと、財務会計には管理会計が、販売管理には在庫管理が

含まれています。管理会計や在庫管理は、一般的には独立したソフトとして販売

されますが……。

インタビュー※1、IDCサービス※2と事業を拡張してきた同社。ビジネスモデルとしても「アドバンス(進歩)」を重ねてきました。



開発をリードする杉原悟社長

パッケージソフトをベースにシステム構築。
まず、「ADVANCEシリーズ」の概要を教えてください。

杉原 企業情報の中核を担う財務会計システムと、それを補助する手形管理と減価償却のシステム、そして業務をサポート

会計や在庫管理は簡易版です。しかし、主にご利用いただいている売上高が100億円くらいまでの企業にとっては、これで十分。逆に、あまり多機能だと、使いこなせなくなりま

杉原 確かに、中堅・中小企業向けの業務用パッケージには強力な商品がありますし、一方、大企業向けのERP※4ソフトも中堅企業向けに簡素化したものが販売されていま

入した後で、その企業のやり方に合わせてソフトに変更を加え、最適なものに改造していくのです。

オリジナルでシステムを構築したのと、同じ結果になるわけですね。

杉原 ええ。導入後は、システムインテグレーターとして仕事を行います。また、そうしたカスタマイズを繰り返す中で、良いところは吸収して、パッケージの内容も改良していきます。お客様に実際に使ってもらい、その生の声を反映することで「ADVANCEシリーズ」は進化してきたのです。

時代を先取りする製品・サービスを開発。

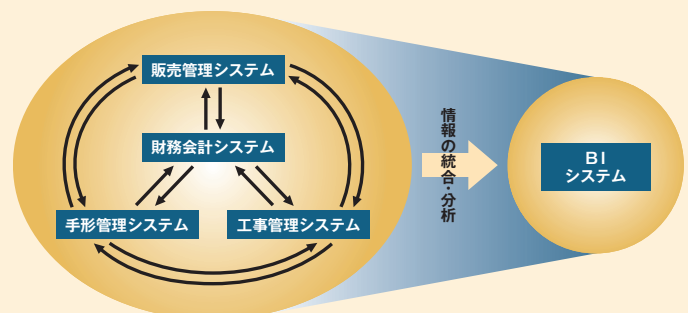
対応するプラットフォーム※5別に、オフコンのAS400※6版、W

7月に発売した「リスクアセスメント」の画面。企業に潜むリスクを洗い出し、ヒヤリハット等の情報を収集・分析・評価してリスク対策に役立てる。



杉原 いや、AS400は、IBMが

■ADVANCE/Windows版のデータ連携



※印の用語解説は、裏面を参照ください。



毎週月曜日、本社と大阪の西日本事業部、いずれもトータルネットを結んで行われるテレビ会議。

継続して力を入れていきます。オフコンは、信頼性が高く、ウイルスの心配もありませんから、業務用コンピュータとして最適です。今は、端末をPCにして、Webブラウザからアクセスできますので、使い勝手も非常に良い。ただ問題は、企業内でオフコンを管理できる人が減っていることです。そこで、お客様の機械をお預かりして運用・管理を代行するハウジングサービスを提供しています。

——IDC事業の一環ですか？

杉原 ええ。私が社長を兼務する、いずもトータルネットという別会社で行っています。インターネットの光回線に仮想専用線を構築してアクセスしますから、社内にオフコンがあるのと何ら変わらない感覚で操作できます。いわば、専用クラウドですね。

杉原 そうですね。また、いずもトータルネットでサーバ機を用意して、お客様のソフトを運用するホスティングサービスも行っています。さらに、ハード・ソフトともに共有する純粋型のクラウドサービスも始めています。現在、企業は、生き残りをかけて選択と集中を行う中で、システム部門をスリム化しようとしています。そこに、我々のビジネスチャンスがある。

——電子カルテの運用支援も、その流れですか？

杉原 はい。99年から、当社の社員が病院に常駐し、24時間、運用・管理をサポートしています。——テクノロジや経済社会の変化に合わせて、ビジネスも変化させている。

杉原 それが当社のモットーで、「ADVANCEシリーズ」でも、時代の先をいく製品を送り出しています。たとえば、この7月に発売した「リスクアセスメント」は、東日本大震災があった企業防災意



識が高まっていることを受けて開発しました。

——今は、どういう開発を手掛けているのですか？

杉原 ひとつは、Rubyというスクリプト言語を使ったソフト開発の実験です。Rubyを作った

遠くない将来に実現させたいと思っています。

「福利厚生プラン」から得た臨時収入が役立つ。

——最後になりますが、ご加入の「福利厚生プラン」について伺います。どういう経緯でご契約されたのですか？

杉原 昨年、満期になった契約があったので、加入したのは11年前ですね。地元郵便局からお話があったので、社員が万一のときの見舞金と、中途退職したときの退職金の上乗せを考えて入りました。それと、私の退職金の準備が何もなくあったので、いずれはそれにも使えるかもしれない、という思いもありました。

——いざというとき柔軟に活用できるのが「福利厚生プラン」のメリットです。

杉原 そうですね。実は、

- 用語解説**
- ※1. 情報システムの企画、構築、運用・管理を一貫して行うこと。
 - ※2. インターネット・データセンターの略。
 - ※3. ビジネス・インテリジェンスの略。業務システムのデータを分析・加工して見える化し、意思決定に役立てる。
 - ※4. エンタープライズ・リソース・プランニングの略。経営資源を有効活用する観点から、企業全体を統合的に管理するシステム。
 - ※5. ハードウェアとOS、ミドルウェアなど、コンピュータシステムの基盤。
 - ※6. オフィスコンピュータの略。事務処理に特化し、主に中堅・中小企業で使われる。AS400は、IBM社のオフコン。

昨年受け取った満期保険金は、財務上、ずいぶん助かりました。リーマンショック以降の落ち込みが回復しきれていないときに、思わぬ臨時収入が得られましたから。——ありがとうございます。今後とも、ご契約のメンテナンスに、きめ細かく対応させていただきます。



株式会社日本ハイソフト
〒693-0035
鳥根県出雲市芦渡町695-1
☎0853-23-0098
http://www.jhsc.co.jp
創立：1984（昭和59）年
資本金：1,000万円
代表取締役社長：杉原悟
従業員数：42名（男36名、女6名）
*契約社員含む
*2012年9月現在
主な事業：システム開発、コンピュータ運用・管理、人材派遣

（注）
記事中に記載の法令や制度等は取材当時のもので、将来変更されることがあります。詳細につきましては、各専門家にご相談いただきますようお願いいたします。

株式会社 かんぽ生命保険
〒100-8798 東京都千代田区霞が関1-3-2
かんぽ生命ホームページ
http://www.jp-life.japanpost.jp/

【取扱店名・担当者・電話番号】